

肝臓に発生する癌の病理学的研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:平成 21 年 4 月 6 日～ 平成 30 年 3 月 31 日

〔研究課題〕

原発性肝癌の免疫組織化学的研究

〔研究目的〕

肝臓に発生する悪性腫瘍である癌には肝細胞癌、肝内胆管癌、細胆管細胞癌、混合型肝癌など様々なものがあります。現代科学の進歩に伴い、これらの分類も変わりつつあります。今回、これらの病変の顕微鏡的所見や免疫組織化学的所見(抗原抗体反応を用いた特殊な染色法による所見)を調べます。

〔研究意義〕

肝臓に発生する癌の性格の顕微鏡的所見や免疫組織化学的所見を調べることにより、その臨床診断や顕微鏡診断の正確さが向上し、最終的に日常診療に役立ちます。

〔対象・研究方法〕

対象として、手術で摘出された肝臓に発生する癌(肝細胞癌、肝内胆管癌、細胆管細胞癌、混合型肝癌など様々な癌、各 15 例以上)を用います。そして、それらの癌の顕微鏡的所見や免疫組織化学的所見を調べます。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院病理診断科, 同医学部病理学講座, その他関連外部施設

〔個人情報の取り扱い〕

・個人情報は匿名化し、かつ、漏洩のないように厳重に管理します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:近藤福雄

住所: 〒173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1 帝京大学医学部附属病院病理診断科

TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 30524]